

公園や庭で被害をおこす虫



チャドクガ幼虫
体長約35mm



タケノホソクロバ幼虫
体長約20mm



カバキコマチグモとその巣
体長約10mm



アオズムカデ
体長50~70mm

チャドクガ

幼虫や成虫の毒針毛に触れるとかゆみの強い皮ふ炎を起こします。ツバキ、サザンカ、チャなどに幼虫が集団で発生します。公園や緑地にツバキなどを植栽することが多いため、最近増えています。幼虫を見つけたら枝ごと切り取り、焼却します。

タケノホソクロバ

幼虫はササやタケについており、体の毒針毛に触れると刺されます。刺されると強い痛みがあり、そのあとかゆみが続きます。成虫は黒い小型の蛾ですが、毒針毛は幼虫だけが持っています。葉ごと切り取り、焼却します。

カバキコマチグモ

かまれると非常に痛く、あとで大きくはれます。メスはススキの葉などを巻いた巣（産卵室）の中において巣をイタズラしたりすると攻撃してきます。子供が巣を開いてかまれる例や、夜間、室内に侵入してきて人をかんだ例などがあります。巣を見つけても触らないことです。

アオズムカデ

腐った落葉や石の下などに生息しています。かまれると激痛があり、ひどくはれることがあります。雑草取りや、野原で昼寝をしていてかまれた例や、夜間、家に侵入して人をかむことがあります。庭の落葉などはかたづけ、生息できない環境にします。